



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越

コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 本間 博夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長

(氏名) 薄田 賢二

TEL 03-5568-5210

四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	110,907	33.9	10,076	91.7	9,468	77.1	4,736	109.0
25年11月期第2四半期	82,834	△2.7	5,257	△11.7	5,346	5.0	2,266	△14.3

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 5,088百万円 (△55.1%) 25年11月期第2四半期 11,322百万円 (135.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	19.05	—
25年11月期第2四半期	9.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第2四半期	221,402	85,020	36.3	323.46
25年11月期	207,916	81,360	37.1	310.23

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 80,407百万円 25年11月期 77,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	22.4	19,500	58.0	18,500	58.1	10,500	56.6	42.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	249,193,436 株	25年11月期	249,193,436 株
26年11月期2Q	610,157 株	25年11月期	595,144 株
26年11月期2Q	248,591,305 株	25年11月期2Q	248,611,093 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年12月1日～平成26年5月31日)の当社グループをとり巻く環境は、自動車生産が堅調に推移するとともに、北米をはじめとした海外市場の伸張を受けて、需要動向に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは、工具、工作機械、ロボット、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、顧客に多様なソリューションを提供してまいりました。そして、海外の現地顧客を中心とした新規開拓や、新商品の投入、既存商品のラインナップの拡充にとり組むとともに、第1四半期から在外子会社の決算期変更を行なった結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、1,109億7百万円と前年同期に比べ33.9%の増収となりました。このうち、国内向けの売上高は584億60百万円(前年同期比15.9%増)、海外売上高は524億47百万円(同62.0%増)であります。

利益面につきましては、生産性の向上をはじめとしたトータルコストダウンの成果をとり込み、営業利益は100億76百万円(前年同期比91.7%増)、経常利益は94億68百万円(同77.1%増)、四半期純利益は47億36百万円(同109.0%増)となりました。

なお、連結子会社のうち、在外子会社については、従来9月30日現在の財務諸表を使用しておりましたが、当連結会計年度より11月30日現在の財務諸表を使用することに変更しております。この変更により、在外子会社については、当第2四半期連結累計期間は8ヶ月となっております。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

- ①機械工具事業では、自動車や航空機、産業機械分野における国内外の需要とり込みに加え、工具やロボットの新商品投入が奏功し、機械工具トータルの売上高は360億99百万円(前年同期比17.5%増)となり、営業利益は35億16百万円(同34.0%増)となりました。
- ②部品事業につきましては、自動車や建設機械分野の需要回復を受けて、部品トータルの売上高は660億23百万円(前年同期比44.5%増)となり、営業利益は56億40百万円(同173.3%増)となりました。
- ③その他の事業につきましては、特殊鋼の需要回復により、売上高は87億84百万円(前年同期比36.7%増)、営業利益は8億91百万円(同57.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,214億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ134億85百万円増加しました。主として、受取手形及び売掛金が57億60百万円、たな卸資産が38億74百万円、有形固定資産が33億16百万円、現金及び預金が14億48百万円増加し、投資有価証券が10億13百万円減少しております。

負債合計は、1,363億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億25百万円増加しました。主として、借入金が75億18百万円、支払手形及び買掛金が42億2百万円増加し、社債が40億80百万円減少しております。

純資産合計は、850億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億59百万円増加しました。主として、利益剰余金が32億45百万円増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は80億71百万円(前年同期比43億84百万円減)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益82億25百万円、減価償却費57億76百万円、仕入債務の増加38億22百万円などにより資金が増加し、売上債権の増加54億19百万円、たな卸資産の増加33億72百万円、法人税等の支払34億29百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は81億5百万円(前年同期比19億17百万円増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動により獲得した資金は11億3百万円(前年同期比73億54百万円減)となりました。これは、主として借入金の純増額73億82百万円により資金が増加した一方、社債の償還により40億80百万円、配当金の支払により14億91百万円資金が減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は196億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億96百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、消費税の引き上げなどに伴う国内景気の減速懸念は残るものの、北米や新興国市場を中心に、自動車や建設機械、航空機分野の需要拡大が見込まれ、総じて堅調に推移する見通しであります。

当社グループとしましては、中長期的な需要の拡大が期待できる北米・新興国市場に軸足を置き、販売・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質改善を推しすすめ、商材・ラインナップの拡大、新しいビジネスチャンスの創出、工程改善、海外調達の推進など抜本的なコスト改革にとり組んでまいります。そして、業績の一層の向上と、安定した収益基盤の確立に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

連結子会社のうち、在外子会社については、従来9月30日現在の財務諸表を使用しておりましたが、当連結会計年度より11月30日現在の財務諸表を使用することに変更しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,591	20,040
受取手形及び売掛金	39,896	45,657
商品及び製品	17,601	17,805
仕掛品	10,100	12,274
原材料及び貯蔵品	7,746	9,243
その他	7,300	6,550
貸倒引当金	△101	△86
流動資産合計	101,135	111,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,803	28,561
機械装置及び運搬具(純額)	38,472	39,916
その他(純額)	15,078	17,192
有形固定資産合計	82,354	85,670
無形固定資産		
	716	811
投資その他の資産		
投資有価証券	18,312	17,298
その他	5,412	6,151
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	23,709	23,434
固定資産合計	106,780	109,916
資産合計	207,916	221,402
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,918	43,120
短期借入金	2,104	10,487
未払法人税等	2,850	3,189
その他	35,419	32,922
流動負債合計	79,292	89,720
固定負債		
社債	20	—
長期借入金	31,308	30,141
退職給付引当金	6,626	6,849
役員退職慰労引当金	26	29
負ののれん	12	5
その他	9,269	9,633
固定負債合計	47,263	46,660
負債合計	126,556	136,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,561	11,561
利益剰余金	48,527	51,772
自己株式	△199	△208
株主資本合計	75,964	79,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,094	6,437
為替換算調整勘定	△4,744	△3,988
在外子会社年金債務調整額	△1,192	△1,240
その他の包括利益累計額合計	1,157	1,207
少数株主持分	4,238	4,612
純資産合計	81,360	85,020
負債純資産合計	207,916	221,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	82,834	110,907
売上原価	65,831	85,714
売上総利益	17,003	25,193
販売費及び一般管理費	11,746	15,116
営業利益	5,257	10,076
営業外収益		
受取利息	23	33
受取配当金	69	125
負ののれん償却額	7	6
持分法による投資利益	15	24
為替差益	809	—
その他	185	340
営業外収益合計	1,111	530
営業外費用		
支払利息	618	563
売上割引	195	258
その他	207	316
営業外費用合計	1,021	1,138
経常利益	5,346	9,468
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	384	—
ゴルフ会員権売却益	8	—
特別利益合計	396	1
特別損失		
固定資産売却損	6	—
固定資産除却損	28	66
投資有価証券評価損	—	2
独占禁止法違反に係る課徴金	509	—
独占禁止法等関連損失	—	1,174
海外子会社税務関連損失	606	—
特別損失合計	1,149	1,244
税金等調整前四半期純利益	4,592	8,225
法人税、住民税及び事業税	2,208	3,196
法人税等調整額	△29	95
法人税等合計	2,179	3,291
少数株主損益調整前四半期純利益	2,413	4,933
少数株主利益	147	197
四半期純利益	2,266	4,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,413	4,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,739	△671
為替換算調整勘定	5,392	838
在外子会社年金債務調整額	△230	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	6	35
その他の包括利益合計	8,908	154
四半期包括利益	11,322	5,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,730	4,786
少数株主に係る四半期包括利益	591	301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,592	8,225
減価償却費	4,966	5,776
負ののれん償却額	△7	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△69	183
前払年金費用の増減額(△は増加)	△548	△207
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	△92	△158
支払利息	618	563
持分法による投資損益(△は益)	△15	△24
有形固定資産売却損益(△は益)	3	△1
有形固定資産除却損	28	66
投資有価証券売却損益(△は益)	△384	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2
売上債権の増減額(△は増加)	7,233	△5,419
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,047	△3,372
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,761	3,822
その他	1,358	2,195
小計	14,935	11,631
利息及び配当金の受取額	115	207
利息の支払額	△617	△589
法人税等の支払額	△2,008	△3,429
法人税等の還付額	31	252
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,455	8,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,392	△8,167
有形固定資産の売却による収入	103	47
投資有価証券の取得による支出	△126	△17
投資有価証券の売却による収入	422	0
貸付けによる支出	△4	△9
貸付金の回収による収入	12	8
その他	△203	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,188	△8,105

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	520	7,995
長期借入れによる収入	28,700	8,719
長期借入金の返済による支出	△18,648	△9,333
社債の償還による支出	△30	△4,080
リース債務の返済による支出	△580	△771
配当金の支払額	△1,491	△1,491
少数株主への配当金の支払額	△11	△7
少数株主からの払込みによる収入	0	81
その他	△2	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,457	1,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,324	326
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,049	1,396
現金及び現金同等物の期首残高	15,761	18,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,811	19,625

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,725	45,684	6,424	82,834	—	82,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	848	304	3,651	4,803	(4,803)	—
計	31,573	45,988	10,076	87,638	(4,803)	82,834
セグメント利益	2,625	2,063	566	5,255	1	5,257

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,099	66,023	8,784	110,907	—	110,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,010	401	4,241	6,654	(6,654)	—
計	38,110	66,424	13,026	117,561	(6,654)	110,907
セグメント利益	3,516	5,640	891	10,048	28	10,076

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。